

事務事業評価資料

施策名		持続型花緑活動の推進		所管部局課名	県土整備部まちづくり局都市政策課					
事業名		緑化基金助成費		担当者電話番号	緑化政策係 078-362-3145					
事業目的		公共事業等によって減少させた緑を回復し、緑の保全と創出を図る。								
事業内容		公共事業の実施により減少させた森林面積に応じて、緑を回復する費用を緑化基金へ積立て 積立額：直近5年間の減少面積の年平均に対応する額を積立 積立単価：500円/m ²					事業開始年度	昭和62年度		
事業に要するコスト	区分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額				
	事業費	(0千円) 84,050千円		(0千円) 82,400千円		(0千円) 68,850千円				
	人件費	12,540千円	従事人員 1.5人	12,707千円	従事人員 1.5人	13,371千円	従事人員 1.5人			
	総コスト (+)	96,590千円	従事人員 1.5人	95,107千円	従事人員 1.5人	82,221千円	従事人員 1.5人			
事業の目標		県下の花緑活動団体数			[目標設定理由] 緑の保全と創出を図るためには、活動を継続する団体を維持する必要があるため。					
目標の達成度を示す指標		指標名	目 標		19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率(%)		
			目標値	年度				H19	H20	H21
		県下の花・緑活動団体数	2,400団体	22年度	2,100団体 (46千円)	2,200団体 (43千円)	2,300団体 (36千円)	87.5%	91.7%	95.8%
評価結果	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 県下の花・緑活動団体の緑化活動を支援する事業の財源として活用しており、公共事業等により減少した緑の保全と創出を図るために必要である。 県が公共事業等によって減少させた緑の機能を回復させるための費用を緑化基金に拠出するものであり、代替性がない。 								
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> 公共事業等の事業量が減少し、緑化基金への積立額が年々減少する中で、緑化基金を財源として、県民の参画と協働による持続型の花緑活動を支援することにより、県下の花緑活動団体数も増加しており、着実に成果があがっている。 								
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> 緑化基金を財源とし、団体によるローコストで持続性のある花・緑活動が行われるよう事業を実施している。 持続型の花・緑活動への転換が図られていることから、1団体あたりのコストが年々減少しており、効率的に事業が実施されている。 								
	民間・市町との役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者は林地開発面積に応じた協力金を収入し、県は公共事業により減少させた森林面積を負担金として収入しているため、適切な役割分担がなされている。 								
	受益と負担の適正化	<ul style="list-style-type: none"> 直近5年間に減少させた森林面積の年平均額を拠出し、負担の平準化を図っている。 								
実施方針	方向性	新規	拡充		継続	実施手法の見直し				
		廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定			
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他		
説明	県が公共事業等によって減少させた緑の量に応じた負担額となっており、県民の参画と協働によって緑の保全・創出を図るものであるため、継続する。									